

県民の森 園内紹介 ①

みんなの広場

岩手県県民の森は、広く県民の憩いの場を提供すると共に、森林の知識と緑化促進を通じて郷土愛を深めることを目的として昭和43年にこの地に設置が決められ整備が開始されました。昭和49年全国植樹祭、昭和59年全国育樹祭を経て、現在は360haの森林公園となりました。

みんなの広場はその全国育樹祭の会場で、当時皇太子皇太子妃だった現上皇皇后陛下の御臨席を仰ぎ、約9000人が参加して盛大に開催されました。現在広場にあるあずま屋が当時の皇太子皇太子妃の御席だった場所、広場奥にある小さな山は国旗掲揚台で、どちらからも岩手山の絶景が一望できます。あずま屋脇には当時の皇太子殿下御歌「旅の朝の 窓より見れば岩手山 真向かいに立つ ふもと紅葉に」の石碑があり、当時を偲ぶことができます。

春には、広場奥の丘にある夫婦桜（オオヤマザクラ・カスミザクラ）、岩手県森林整備協同組合の創立30周年の際に植樹されたシデコブシ並木、そして（公社）ゴルフ緑化促進会が植樹した広場を取り囲むように11種類のサクラなど、次々と咲き誇る花々を楽しむことができます。また、広場左脇のシラカンバ並木にはベンチとテーブルが設置され人気の休憩スポットとなっています。2020年には森林整備協同組合創立50周年記念事業としてさらにシデコブシが植樹されました。10年後、20年後に大きく成長し、岩手山を彩ってくれることでしょう。

雪の季節は、広場はいちめんの雪原となります。岩手山北麓の雪はパウダースノー。スノーシュートレッキングやクロスカントリー、ソリなどの雪遊びも楽しめます。また雪上に残るアニマルトラッキングも冬ならではの楽しみです。

